

本郷っ子だより

富士見町立 本郷小学校

第15号 令和8年3月13日

文責：津澤 淳（教頭）

「本当の強さの秘密」

校長講話から 2月27日



2月6日～22日までの17日間イタリアで開催されていました、「ミラノ・コルティナ冬季オリンピック」の盛り上がりの余韻がまだ残っていますね。3月6日(金)からはパラリンピックが開幕となります。テレビの向こう側で、氷の上や雪の上を颯爽と駆け抜ける選手の姿は、本当にキラキラと輝いていますね。

今回の日本のメダル獲得数は、金メダル5銀メダル7銅メダル12計24個です。これは冬季オリンピック史上最多だそうです。4年に一度のチャンスにける選手の皆さんの真剣さや気合い、そして情熱にたくさん力をもらいました。今日は、オリンピックの中でも、フィギュアスケートに焦点を当ててみましょう。フィギュアスケートというと、キラキラとした衣装を着て、華やかに見える世界ですが、その裏側にある「本当の強さ」について考えてみましょう。

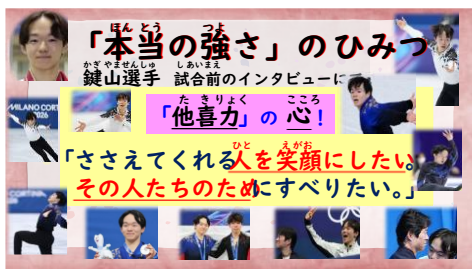
紹介するのは、団体と個人で銀メダルを取った日本代表の鍵山優真（かぎやま ゆうま）選手です。鍵山選手は、前回の北京オリンピックでも、18歳という若さで銀メダルをとった天才スケーターであり、世界でもトップクラスの選手です。でも、ここまでの道は決して楽なものではありませんでした。実は、前回の北京オリンピックの直後のことです。鍵山選手を大きな試練が襲いました。

「左足の疲労骨折」です。

アスリートにとって、怪我が一番怖いものです。ジャンプを飛ぶたびに激痛が走り、ついに彼は、大好きなスケートができなくなり、1年半以上も試合に出場できませんでした。ライバルたちがどんどん新しい技を決め、活躍していく姿を、彼はリンクの外から見ているしかありませんでした。皆さんなら、そんな時、どんな気持ちになりますか？

わたしなら…。ライバルの活躍を見て、置いてかれていることに、焦りを感じて…。

「どうして自分だけ」「もうやめてしまいたい」



そんな風に投げやりになってしまうかもしれません。または、「もう前のように滑れないかもしれない」という不安も高まり、押しつぶされそうになると思います。しかし、鍵山選手は、心が落ち込んでいきませんでした。それよりも「忍耐力」が光っていました。彼は、氷に乗れない間に、自分の体の使い方を一から見直しました。

「もっと強くなって戻ってくるんだ」という強い「向上心」を燃やし続けたのです。そして、この苦しい時期に彼が気づいた、とても大切なことがあります。それは、「自分一人の力で滑っているのではない」ということです。

いつもそばで励ましてくれるコーチでもあるお父さん。リハビリを支えてくれる先生。そして「待ってるよ」と声をかけてくれるファンの皆さんに

いつも支えられていることに気づくのです。特に、コーチであるお父さんは強い味方でした。お父さんの正和（まさかず）さんも、1992年のアルベールビルオリンピック、1994年のリレハンメルオリンピックの2大会に出場しています。一流のフィギュアスケーターであり、一流のフィギュアスケートのコーチ・指導者なのです。そのお父様との二人三脚で苦しい時を乗り越えてきました。自分のためだけに頑張るのには、いつか限界が来ます。でも、鍵山選手は「支えてくれる人を笑顔にしたい」という感謝の気持ちを力に変えたのです。これが、彼が持つ「本当の強さ」の秘密です。

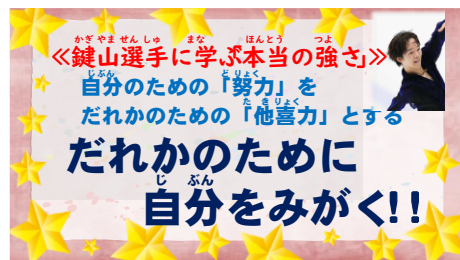
鍵山選手はこう言っています。「自分一人のためだけなら、ここまで頑張れなかった。支えてくれる人を笑顔にしたい。その人たちのために滑りたい」これこそが、私たちが大切にしている「他喜力」の心ではないでしょうか。怪我を乗り越え、約1年ぶりにリンクに戻ってきた時、鍵山選手のスケートは以前よりもずっと力強く、そして優しくなっていました。昨日の自分」というライバルに勝ち続け、苦しい時期を耐え抜いたことで、彼の心は、一回りも二回りも大きくなっていました。今回、オリンピックの舞台上で滑る鍵山選手の顔を見てください。ただ「勝ちたい」という顔ではなく、滑れる喜び、そして「見ている人を喜ばせたい」という、あふれんばかりの「他喜力」に満ちた表情をしています。一部ですが、動画も見てみましょう。（動画を視聴）

皆さんの中にも、今、何か、うまくいかなくて悩んでいる人がいるかもしれません。

「どうせ無理だ」と諦めそうになっている人がいるかもしれません。

そんな時は、鍵山選手の言葉を思い出してください。

「誰かを笑顔にしたい」という気持ちは、自分でも驚くような大きな力を引き出してくれます。そして、誰かのためにがんばることのすがすがしさを感じてほしいです。周りを見てください。一緒に頑張る友達、応援してくれる先生、見守ってくれるおうちの方が必ずいます。誰かのために、そして自分の未来のために、あと一歩だけ頑張ってみる。その積み重ねが、皆さんを大きく成長させる「向上心」になります。漢字の練習を頑張ってみよう、お家の人を驚かせてみよう。係の仕事を一生涯懸命やって、クラスのみんなを助けてみよう。逆上がりの練習を続けて、応援してくれる先生を喜ばせよう。皆さんが自分の弱さに負け



ず、向上心を持って進む姿は、必ず誰かの喜びになります。皆さんを大きく成長させる「向上心」になります。漢字の練習を頑張って、お家の人を驚かせてみよう。係の仕事を一生懸命やって、クラスのみんなを助けてみよう。逆上がりの練習を続けて、応援してくれる先生を喜ばせよう。皆さんが自分の弱さに負けず、向上心を持って進む姿は、必ず誰かの喜びになります。皆さんを大きく成長させる「向上心」になります。漢字の練習を頑張って、お家の人を驚かせてみよう。係の仕事を一生懸命やって、クラスのみんなを助けてみよう。逆上がりの練習を続けて、応援してくれる先生を喜ばせよう。

皆さんが自分の弱さに負けず、向上心を持って進む姿は、必ず誰かの喜びになります。鍵山選手のように、自分のための「努力」を、誰かのための「他喜力」に変えて、「だれかのために自分をみがく」この気持ちを胸に、これからもいっぱい、力強く踏み出していきましょう。これで校長先生のお話を終わります。静かに聴いてくれてありがとう。

学校休業日における安否確認テスト（2回目）～ご協力ありがとうございました～

3月1日(日)にご協力いただきました。【学校休業日における安否確認テスト】では、学校休業中に緊急事態が発生した場合に学校がどのように皆様からお子さんの安否を確認していくか、という課題をもとに、町一斉に行われました。

通常行われている学校での避難訓練や引渡訓練だけでなく、今年度は登校時避難訓練、下校時避難訓練、そして今回の学校休業日における安否確認テストと、お子さんの安全を広範囲にわたってカバーするためにご協力をいただきました。結果、当日13時までには77%の方から回答をいただくことができました。今後もいつ起こるかかわからない不測の事態に備えてまいります。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

学校評価の考察について（ご報告）

11月の参観日後に、児童、保護者、学校職員の三者を対象に学校評価アンケートをとらせていただきました。多くの方からご回答をいただきました。ありがとうございました。

評価からみえてきたこと、その考察につまましてまとめたものを、別紙にまとめ本日お配りいたしました。ご覧ください。

また、2月25日(水)には、3名の学校評議委員の方にお越しいただき、授業参観ののち、この学校評価を見ていただきながら、ご意見をいただきました。こちらもあわせてご報告いたします。

(五味稔様より) 授業や、日常生活を見ても、概ね好意的に進んでいることが伺える。外国語の授業はゲームをしていたので食いつきがいい。ゲーム感覚の展開はとていいな、と感心した。小学生のうちに、比較的楽しく取りかかれると良い。スポーツで活躍する人、オリンピックで活躍する人を見ても、小さい頃から始めていて、好きになり、それを続けている。早いうちに、教科の魅力、楽しさと、きっかけ作りができる授業が理想的かな、と思う。

(植松高光様より) 授業の形態が変わってきている。理解度を深めるには、予習が必要である。予習をしている人は質問の質が違う、ということを感じた。授業で知識を得たい、という熱量が違う、この取り組みはありがたい。

自主的、自律的なことがつながっていけば、先生方の負担軽減、戦略的な授業実践につながっていくだろう。そういう子が一人二人と出るとクラスも変わってくるのだと思う。

(小池桂子様より) 成長の過程が見えてきた各クラス、先生に対しても、自分の意思表示がしっかりとできる関係性がすばらしい。一方的に先生が言うのではなく、「先生、これ難しいよ」「これ、こうした方がいいんじゃない」という声子ども達から出ている。一方通行でないから、とても良かったと思う。

先生方の日頃の努力に感謝です。

非違行為防止研修 ご報告

本郷小学校では、児童や保護者、地域の皆さんの信頼を損なう非違行為を決してしないことを誓い、4月から毎月【非違行為防止研修】に取り組んでまいりました。

事例の読み合わせや、話し合い、演習などを組み合わせ、意識を高め、信頼される学校を目指します。

4月 非違行為を決して行わないことを自筆にて誓う

5月 体罰に頼る指導をしない、アンガーマネジメント

6月 校内ルールの見直し セルフチェックによる自身指導の見直し

7月 自己点検表に基づく自動車運転のふりかえり

8月 わいせつ行為に関係する事例報告の読み合わせ

9月 公金の取り扱いについて 現金の管理

10月 「スクールセクハラ」について具体的なケースに学ぶ

11月 6つの類型からパワハラ防止について話し合う

12月 校内のどこに「死角」があるか、小グループで話し合い

1月 飲酒運転をしない・させないためにしよくばでできることは

2月 個人情報等の不正事務処理防止チェックリストから自己点検

3月 1年間のまとめ

新PTAが発足しました。

先日(第2回)PTA総会(書面決議)をへて、令和8年度の新役員が決定いたしました。

よろしく願いいたします。

令和8年度PTA会長 矢沢 洋

PTA副会長 澤田光章

PTA副会長 朝岡尚子

町P副会長 澤田光章

施設校外指導部長 和田勝利

教養部長 富山奈央

学級部長 岡田亮子

地区長(立沢) 青木好美

(乙事) 五味 葵

(新田) 植松孝紀

(桜ヶ丘) 雨宮純慧

監事 矢沢五輪男 水野瀬一

4日(水)には、新旧の役員さん、地区長さんが一堂に会して引き継ぎを行いました。

「わが本郷 すべては子どものために」を合い言葉に矢沢五輪男会長始め、多くの役員の皆様にお世話になりました。ありがとうございました。